

人間の“使い捨て”では未来がない！派遣法を改正して“労働者保護法”に！！

「近所のみなさん。日本共産党です。」

この場をお借りして、今、多くのみなさんが胸を痛めておられる「貧困と格差」——これを是正するための、日本共産党の奮闘と見解を、お知らせしたいと思います。ご協力をよろしく願います。

みなさん。

埼玉県内の、マクドナルドで働く青年が、「店長」だからといって残業代が支払われないのは不当だと訴えて、東京地方裁判所から、残業代の支払い命令をかちとりました。

こうした青年の取り組みが、今、社会を動かしています。

コンビニエンスストア最大手のセブンイレブン・ジャパンが、直営店の現役店長約五百人に対して、三月から残業代を支払うことを決めました。

人間の“使い捨て”では未来がありません。力をあわせて、人間らしく働くルールのある、日本をつくっていきましょうませんか。お近くの日本共産党の支部や議員に、残業代や有給休暇、労働組合のこと、何でもご相談ください。日本共産党は、働くみなさん、若いみなさんの、仕事の悩みにこたえて頑張ります。

みなさん。

国会は、二〇〇八年度予算案の審議が行われている、真っ最中です。

日本共産党の志位和夫委員長は、**人間をモノのように使い捨てる**に、派遣労働の実態をとりあげて、労働者派遣法の改正を迫りました。

派遣労働の中でも、最も不安定で無権利状態にあるのが、いわゆる「日雇い派遣」です。

派遣会社に登録して、携帯電話にメールで、集合場所と仕事先が送られてきます。契約期間は一日だけ。手取りは六千円から七千円です。

日本共産党の志位和夫委員長が取り上げたのは、倉庫作業だと言われて、行った先が冷凍倉庫、軍手しか持参しなかったために、半日で両手が凍傷になったという例や、建設解体現場で、タオルをまいただけで働く、派遣労働者の実態でした。

福田首相は、「日雇い」という形は、決して好ましいものではないと考えている」と、答えざるをえませんでした。

政府は、一刻も早く、労働者派遣法を改正して、日雇い派遣を禁止し、安定した雇用に転換するため、全力をつくすべきです。

みなさん。

派遣会社の最大手・グッドウイルが、「二重派遣」など違法行為がもとで、**事業停止処分を受けたのをご存知のこと**と思います。

このグッドウイルといっしょになって、三つの会社が、違法な「二重派遣」にかかわっていました。ところが、刑事告発されたのは派遣業の許可を受けていなかった一社だけで、他は、改善命令を受けただけでした。グッドウイル自身も行政処分だけで、何の罰則もありません。

また、派遣労働者を受け入れる派遣先企業にいたっては、こうした「二重派遣」など、違法行為の「共犯者」になっても、何の罰則もなく、会社名の公表すら行われません。

その一方で、違法な働かされ方をした労働者は、不安定雇用のままか、離職を余儀なくされています。これでは、ひどすぎるのではないのでしょうか。

日本共産党は、**労働者派遣法を、派遣労働者保護法に、抜本的に改正するために、力をつくします。**

「近所のみなさん。」

派遣労働というのは、もともと、臨時的・一時的な業務に限るものです。正社員を、派遣労働者に置き換えてはならないことに、なっています。ところが、日本共産党の調査によれば、日本経団連の会長企業であるキャノンでは、「労働コスト面からも非常に有益」だといって、正社員を派遣労働者に置き換えて、働かせています。たとえば、キャノンマテリアルでは、直接雇用千百六十人に対して、「派遣」と「請負」が千七百二十人、半数以上です。「手元に残る給料は十万円、健康保険にも年金にも入れない」といいます。これで、世界の一流企業と言えるのでしょうか。

大企業にもっと社会的責任を負わせるような、政治の転換が必要ではないでしょうか。日本共産党は、そのために、力をつくして頑張ります。ありがとうございます。